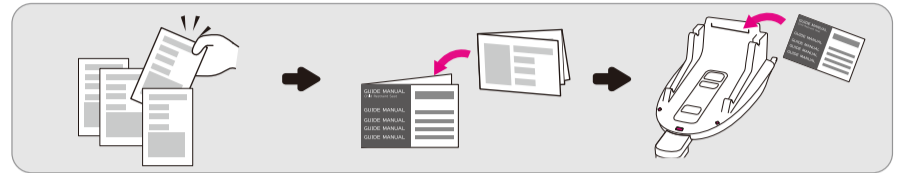


はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

- この取扱説明書は、取扱説明書ホルダーに挟んで大切に保管し、必要に応じてお読みください。一部商品によっては複数言語同梱されておりますので、ご自分で使いやすい言語をお選びください。



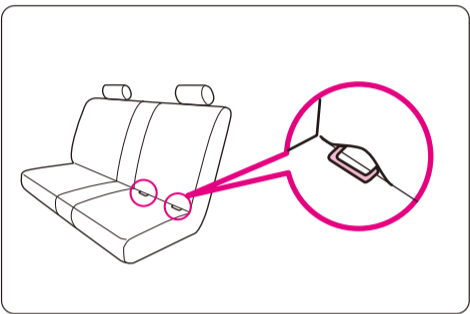
D10-3

事前準備

このステップでは、ご使用前に確認して頂きたい重要ポイントや、基本的な使い方を説明します。

1 ISOFIX とは

本品は、ISO(国際標準化機構)がチャイルドシートの固定装置の大きさや取付け方法を統一した規格である「ISOFIX(アイソフィックス)」に準拠した製品です。ISOFIX(アイソフィックス)とは、車のシートにチャイルドシートを固定する方式の国際標準規格の1つです。これまで一般的だったシートベルトを使用する代わりに、車両シートに設置されたISOFIX 取付け金具でチャイルドシートを固定します。



2 適合の確認

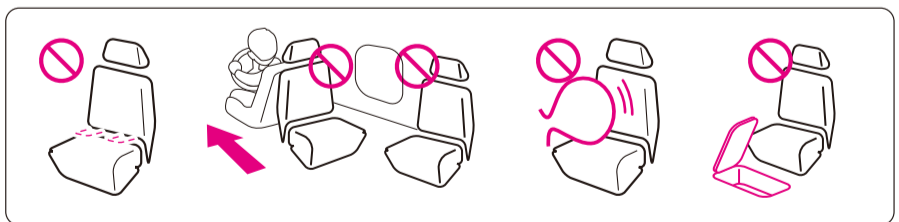
本品は「ISOFIX」(UN No.44/04 規則)に適合した製品ですが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車に取付けられるものではありません。本品は、各質量グループに対し、右の表のいずれかのサイズ等級、固定具が記されている車両に取付けることができます。取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具
0+ (~13kg)	D	ISO/R2
1 (9~18kg)	B1	ISO/F2X

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

- ISOFIX 取付け金具が装備されていないシート。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバックが装備されているシート。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取り付けしないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。



⚠ シートベルトでは絶対に取付けしないでください。衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。

作業スペースの確保

- 安全に取付け作業を行うため、次のように作業スペースを確保してください。
- 1 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所で行ってください。
- 2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 3 チャイルドシートを取付ける車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

- 車種によってはシート背もたれを少し後に倒して取付けると作業しやすい場合があります。取付けたあとは標準の位置へ戻してください。

事前準備

- 1 ISOFIX とは
- 2 適合の確認
- 3 各部名称
- 4 取付け向きの確認
- 5 ご使用上の警告／注意

お車に取付ける

- | ベースの取付け | シートの取付け |
|--------------------|-------------------|
| 1 サポートレッグを開く | 5 シート取付けの準備 |
| 2 ISOFIX コネクタを差し込む | 6 シートをベースに接続する |
| 3 サポートレッグを調節する | 7 シートの取付けを確認する |
| 4 ベースの取付けを確認する | 8 イージーキャノピーのご使用方法 |

お子さまの乗せ降ろし

- 1 乗せる準備をする
- 2 お子さまを座らせる
- 3 お子さまを拘束する
- 4 拘束ポイントを確認する
- 5 お子さまを降ろす

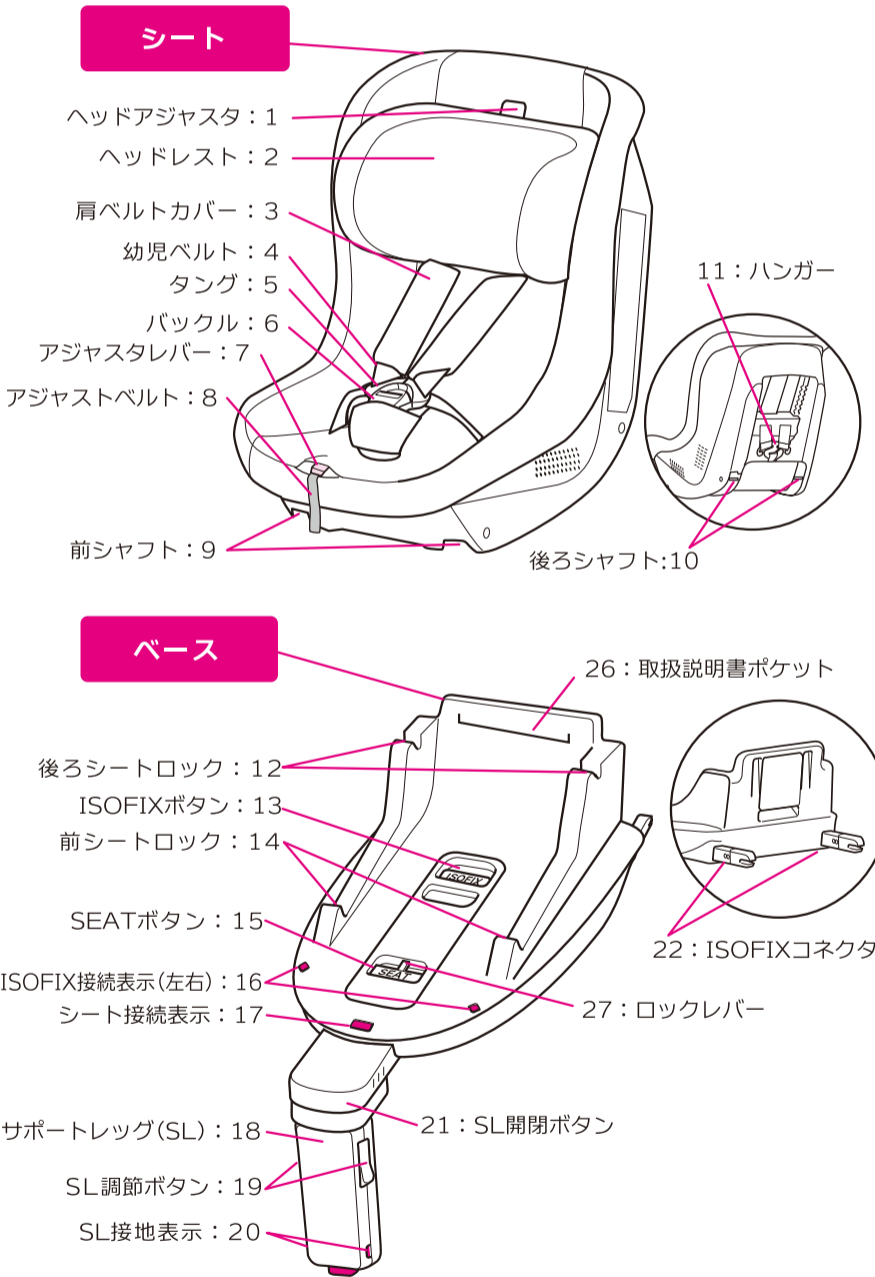
メンテナンス

- 1 お車から取りはずす
- 2 カバーを取りはずす
- 3 洗濯と日常のお手入れ
- 4 保管／廃棄の仕方

表示マーク この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。	警告 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。	確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。	アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。	うまいかない時は。。 うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。
禁止 図示されている内容の禁止を示しています。		

3 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。
※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。



4 取付け向きの確認

お子さまの体重に合わせ、「後向き」と「前向き」の2つの取付け向きで使用します。

- 体重が13kg未満のお子さまには「後向き取付け」でご使用できます。
※身長のめやす：~80cm
※年齢のめやす：新生児~1才半頃
- 体重が9kg以上18kg以下のお子さまには「前向き取付け」でご使用できます。
※身長のめやす：70~105cm
※年齢のめやす：9ヶ月~4才頃

ⓘ お子さまの体重が9kg~13kgの場合はどちらのモードでもご使用できます。後向きを推奨しますが、お子さまが嫌がるなど、正しく着座できない場合は、前向きでご使用ください。

~13kg

お子さまに合わせて調整する

1 インナーパッドの取付け
本紙裏面を参考にバックルをはずして、7kg以下の乳児(6か月ごろまで)は[24:インナーパッド]をセットします。

2 幼児ベルト高さの調節
本紙裏面を参考に[4：幼児ベルト]の長さに余裕を持たせてから、[1：ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保ったまま、お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから[4：幼児ベルト]が出る位置になるように[2：ヘッドレスト]高さを調節します。

9kg~18kg

お子さまに合わせて調整する

幼児ベルト高さの調節
本紙裏面を参考に[4：幼児ベルト]の長さに余裕を持たせてから、[1：ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保ったまま、お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから[4：幼児ベルト]が出る位置になるように[2：ヘッドレスト]高さを調節します。

5 ご使用上の警告／注意

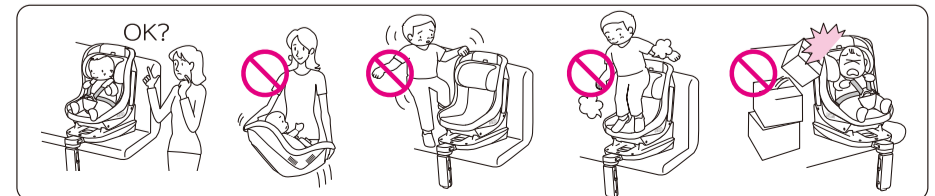
⚠ 記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、**ベルトやゴムなどが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。**
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 車両座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- チャイルドシートのバックルをはずしたままのご使用は危険ですので絶対におやめください。
- 後部座席に人が乗る場合の1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。**
- お子さまが、**バックルの赤いボタンを押さないように**注意してください。ときどきタングが**バックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても**絶対に使用しないでください。**
- チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートは車両から取りはずしてトランクに収納しておくか、取扱説明書通りに取付けておいてください。
- チャイルドシートを改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーは**はずしての使用**、または**専用カバー以外での使用はしないでください。**(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。
- 保護者が各部分に触れて、**やけどしないことを確認の上**、お子さまを乗せてください。
- 運転中にチャイルドシートの操作(ベルト調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。



⚠ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください。)
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がりたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートとの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。その際、ISOFIXコネクタやISOFIX取付け金具に干渉しないように注意してください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないようにチャイルドシートを取付けてください。
- チャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
- チャイルドシートを車両以外ではご使用しないでください。
- チャイルドシートを取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。



お車に取付ける

このステップでは、チャイルドシートをお車に取付ける方法を説明します。ベースをお車の ISOFIX 取付け金具に接続させた後で、シートをベースに取付けます。シートはお子さまの体重によって取付け向きが異なります。

詳しい取付け方を動画で確認できます ▶▶



※取付操作へ入る前に、シートとベースは分離しておいてください。 C 1

1 サポートレグを開く

ベースを引っくり返した状態で、A [21:SL開閉ボタン] を引いて、B [18: サポートレグ] を開く。
 SL 開閉ボタンの赤色ラベルが見えなくなるまでサポートレグを開いてください。

2 ISOFIX コネクタを差し込む

A [13: ISOFIX ボタン] を押しながら B 左右の [22: ISOFIX コネクタ] を片ずつ最大限引き伸ばす。
 [16: ISOFIX 接続表示] が「赤色」になっていることを確認してください。「緑色の場合は [13: ISOFIX ボタン] を押ししてください。
 C ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、左右の ISOFIX コネクタを車両座席の ISOFIX 取付け金具に片ずつゆっくりと接続し、押し込めたらしっかりと当たるまで押し込む。 ※[16: ISOFIX 接続表示] が「赤色」から「緑色」に変わります。
 ISOFIX 取付け金具が座席に隠れて見えにくい場合は [23: 取付けガイド] を使うことで取付けやすくなります。車両座席によって、[23: 取付けガイド] を取付けできない場合や必要ない場合は、[23: 取付けガイド] を使わずに取付けてください。

3 サポートレグを調節する

左右の [19: SL 調節ボタン] を押しながら、サポートレグの先端が車両の床面に接するように長さを調節する。
 ※[20: SL 接地表示] が「赤色」から「緑色」に変わります。
 長さが合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1段階長めに伸ばしてください。

4 ベースの取付けを確認する

A 左右の [16: ISOFIX 接続表示] と [20: SL 接地表示] が「緑色」になっていることを確認する。
 [16: ISOFIX 接続表示] が完全に「緑色」になっていない時は、ベースを取付け金具から一旦取りはずし、再度取付け直してください。
 B ベースがしっかりと取付けられ、ぐらつきがない事を、前後左右にゆすり、確認する。ぐらつきがあるときは、ISOFIX ボタンを押して、初めからやり直す。
 ISOFIX コネクタの接続、サポートレグの調節は必ず正しく操作してください。これらが正しく操作されていないと、衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。

5 シート取付けの準備

本紙裏面を参考に取付け向きを確認する。またベースの上に物が無い事を確認してください。
 [17: シート接続表示] が「赤色」になっていることを確認してください。「緑色の場合は [27: ロックレバー] と一緒に [15: SEAT ボタン] を押ししてください。
 シート取付けの準備

6 シートをベースに接続する

●後向きの取付け方
 A 左右の [10: 後ろシャフト] と [14: 前シートロック] をそれぞれ重ね、上から押し込む。
 B そのまま左右の [9: 前シャフト] と [12: 後ろシートロック] を合わせ上から押し込む。
 ※[17: シート接続表示] が「赤色」から「緑色」に変わります。
 ●前向きの取付け方
 A 左右の [9: 前シャフト] と [14: 前シートロック] をそれぞれ重ね、上から押し込む。
 B そのまま左右の [10: 後ろシャフト] と [12: 後ろシートロック] を合わせ上から押し込む。
 ※[17: シート接続表示] が「赤色」から「緑色」に変わります。
 [8: アジャストベルト] がはさまれないように注意してください。車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。

7 シートの取付けを確認する

A [17: シート接続表示] が「緑色」になっている事を確認する。
 [17: シート接続表示] が完全に「緑色」になっていない時は、シートをベースから一旦取りはずし、再度取付け直してください。
 B シートがしっかりと取付けられ、ぐらつきがない事を、持ち上げたり、前後にゆすり、確認する。ぐらつきがあるときは、再度取付けをやり直す。
 ※ベース前方が上に持ち上がるのは問題ありません。
 ●全てのシャフトとシートロックを正しく接続してください。これらが正しく接続されていないと、衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。

8 イージーキャノピーのご使用方法

7kg 以下の乳児(6 か月ごろまで)にご使用いただけます。
 A [2: ヘッドレスト] を最も上まで上げる。
 B [25: イージーキャノピー] をかぶせて、ホック(左右2ヶ所)を留める。
 C お子さまに合わせてヘッドレストの高さを調節する。(取扱説明書 2 幼児ベルトの調節 参照)
 D [25: イージーキャノピー] をめくる。
 F お子さまを乗せる。
 イージーキャノピーは、お子さまの顔に接触しない間は使用できます。お子さまの体重が7kg を超えた場合や、お子さまの手が届くようになればはずしてください。
 ●イージーキャノピーのホックを、必ず留めて使用してください。
 ●チャイルドシートを持ち運ぶ際は、イージーキャノピー部分を持たないでください。破損するおそれがあります。
 ●イージーキャノピーに、おもちゃなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。
 ●イージーキャノピーを取りはずすと、ヘッドレストの高さを調節できず、ホックの周囲を徐々にくっつけて取りはずしてください。決して無理に引っ張らないでください。破損するおそれがあります。

うまくいかない時は。。

- SL 開閉ボタンが動かない。
→サポートレグの根元に荷物がかかっているとボタンが動きません。サポートレグの先端を 1~2 ミリ程度軽く浮かせながら SL 開閉ボタンを引いてください。
- ISOFIX 接続表示が緑色に変わらない。
→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかりと接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。
- シート接続表示が緑色に変わらない。
→車両シートの背もたれやヘッドレストが干渉している、またはシートロックに異物が挟まっているなどの可能性があります。お確かめください。

お子さまの乗せ降ろし

このステップでは、お子さまをチャイルドシートに乗せる方法を説明します。お子さまの体型にあわせて着座スペースを調節し、股 / 両腰 / 両肩にベルトを通し、バックルでしっかりと拘束します。

使用イメージ

1 乗せる準備をする

本紙裏面を参考に取付け向きを確認し、お子さまにあわせて着座スペースを調整する。
 A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、B 左右両方(2本)の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。
 [3: 肩ベルトカバー] ではなく、幼児ベルトを引いてください。
 C [6: バックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。
 D 幼児ベルトを左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。
 夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。
 正座しないようにしてください。

2 お子さまを座らせる

バックルがお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの上奥に座らせる。

3 お子さまを拘束する

A お子さまの腕を幼児ベルトに通す。
 B 左右のタングを重ね合わせて、『カチッ』と音がするまでバックルに差し込む。
 C 幼児ベルトをお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[8: アジャストベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。
 アジャストベルトを斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。
 ●幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

4 拘束ポイントを確認する

A 幼児ベルトを引っ張って、バックルやベルトがゆるまないか確認する。
 B 幼児ベルトがぬじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。
 ●お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。
 ●バックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
 ●お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。
 ●かさばる服を着せた状態で、チャイルドシートに座らせないでください。
 ●幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。

うまくいかない時は。。

●バックルの赤いボタンが固くて押せない。
→お子さまが誤って解除しないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。
 ●バックルのタングがはまらない。
→タングは左右別々の状態でははまりません。左右のタングを重ねてからバックルに差し込んでください。裏表に注意してください。

5 お子さまを降ろす

A アジャスタレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
 このとき、[3: 肩ベルトカバー] を引かないように注意してください。
 B バックルの赤いボタンを押してタングをはずす。
 C 幼児ベルトを左右に開く。
 D お子さまの腕を幼児ベルトから外し、お子さまをチャイルドシートから降ろす。
 緊急時にバックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

6 幼児ベルトが短い。

→幼児ベルトをしっかり引き出しきれていない可能性があります。アジャスタレバーの奥側を押して、幼児ベルトを引き出してください。

発進前の「振り向き3点チェック」

- 取付け向きは間違っていないですか?
- ベースに赤色の接続表示はありませんか?
- 幼児ベルトはゆるんでいませんか?

メンテナンス

このステップでは、お車からの取はずし方、カバー等の洗濯の仕方、保管の仕方等を説明します。

1 お車から取りはずす

A [27: ロックレバー] と一緒に [15: SEAT ボタン] を押ししながら、B シートの上部を手前に起こす。
 C 後ろシートロックが解除されたのを確認し、シート全体を持ち上げる。
 D 車両座席のリクライニングを倒し、ベースを車両シートに押し付けながら、[ISOFIX] の文字が見えなくなるまで強い力でボタンを押し切る。
 しっかりと取付けると、ISOFIX ボタンが固くなります。無理に引き抜こうとせず、「カチッ」というまで両手でボタンを確実に押し切ってください。

2 カバーを取りはずす

A ヘッドレストカバーやシートカバーそれぞれを留めているゴムやホックをはずす。
 最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。
 B バックルのタングをはずしヘッドレストカバーとシートカバーそれぞれを上から外周をめくるようにはずす。
 商品により、シートカバーの下にクッション類があります。

3 洗濯と日常のお手入れ

シートカバーなどの縫製製品の洗いかた
 ●中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
 ●塩素系漂白剤は使用しないでください。
 ●洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
 ●アイロン掛けはしないでください。
 ●ドライクリーニングはしないでください。
 日常のお手入れ方法
 ●取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります)
 ●樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
 ●掃除機などで、ほごりやごみを取ってください。
 ●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
 ●部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。
 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

4 保管/廃棄の仕方

保管
 ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。サポートレグは、6 段階ほど伸ばし、折り畳んでください。ベース裏側のくぼみに収納できます。
 廃棄
 ●お住まいの各自自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
 ●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。
 製品仕様
 製品サイズ W430×D635×H630mm(サポートレグを除く)
 材質 本体…PP、ウレタン
 シートカバー…表/ポリエステル 裏/ウレタン